上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第 14 号(校長　五十嵐貴子)
令和５年１０月３１日発行

山の樹々が美しく色づいて、秋の穏やかな日ざしが暖かく降りそそぐ中、２７日に「青樹祭（文化祭）」を開催しました。生徒たちの力の結集である全校合唱や器楽演奏、学習発表などを、ご来賓の皆様や保護者の方に披露しました。準備から楽しく忙しく取り組んできた生徒たちの心が一つになり、美しい歌声、奇麗な音色、そして思いの詰まったすばらしい発表が、体育館を感動で満たしました。この日、上中生は、また一つ、大きく成長しました。

1年生の発表

▲１年生合奏　箏「荒城の月」「さくらさくら」

2年生の発表

▲２年生合奏　ギター「スカボロフェア」「カントリーロード」

3年生の発表

▲３年生合奏　打楽器「打楽器のための小品」

上野小学校5・6年生の皆さんも

後半、１年生は「上野村について」、２年生は「東京施設訪問」、３年生は「オーストラリア海外研修」について、学んだことや体験したことを発表しました。

写真や資料、クイズなども交えて、これまでの学びを堂々と発表しました。先輩の学びが後輩たちの憧れとなり、後輩の学びが先輩の自信となり、楽しい交流のひと時でした。

フロアには、美術や技術、家庭科の時間に制作した作品が展示されました。すばらしい作品が並びました。３年生はプログラミングで車を動かして見せました。すごい！

最高の笑顔で明日に向かって進んでいきます！

上中生の次の活躍は、11月８日（水）の校内駅伝大会です。生徒たちは、体育の授業で着々と力をつけ、自身の目標に挑戦し、自己ベストのタイムを出すべく頑張っています。長い距離を走ることは苦しいことだと思いますが、誰一人弱音を吐かず、それどころか、自分を追い込み、仲間と励まし合いながら、「もっとやれる」「あとどれくらい頑張れるか」と自問しながら、体と心を鍛えています。

秋の楢原路を本気で駆け抜ける生徒たちに、どうぞ、応援をよろしくお願いします。